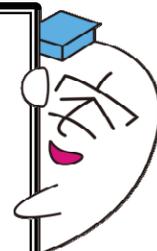


2021年度版 環境報告書

Utsunomiya University Environmental Report 2021



この報告書は、「環境情報の提供の促進等による特定事業者等の環境に配慮した事業活動の促進に関する法律（環境配慮促進法）」（平成16年6月2日法律第77号）第9条の規定に基づき、作成し、公表するものです。

■対象組織 国立大学法人 宇都宮大学

■対象地区 峰町キャンパス、陽東キャンパス、附属学校、附属農場、附属演習林、国際交流会館、学生寮

■対象期間 令和2年4月～令和3年3月

CONTENTS -目次-

1. 環境方針	1
2. 宇都宮大学について	
2-1 宇都宮大学の概要	2
2-2 宇都宮大学の組織	3
3. 地域貢献	
3-1 地域貢献事業	4
3-2 公開講座等	4
4. 環境パフォーマンス	
4-1 エネルギー消費量	6
4-2 ゴミ・紙・グリーン購入等	13
4-3 化学物質	15
4-4 環境配慮活動の取組事例	16
4-5 環境関連の法規制の遵守状況	17
5. 環境報告ガイドライン（2012年版）との準拠状況	18



各ページにSDGsの17の目標のどれと密接に関係しているのかを示すためにアイコンを表示しています。

1. 環境方針

基本理念

地球温暖化をはじめとして、資源エネルギーや生物多様性など地球環境保全の問題は、人類が直面している大きな課題となっています。自然と豊かな環境の保全を通じて一人一人が幸せを実感できる生活をつくりあげ、次世代に継承させる社会の構築がいま求められています。

本学は、地域の「知」の拠点として、また、広く社会に貢献すべく開かれた大学として、社会の要請に応じた人材の養成はもとより、持続可能な社会の形成を促す教育研究や環境整備等を通じて、環境保全に努めます。

基本方針

本学は、基本理念を具体的に実現するために、すべての構成員が法令及び学内規則等を遵守し、以下の取り組みとともに、継続的な改善に努めます。

① 持続可能な社会形成を促す教育研究の推進

低炭素社会で求められる環境問題に関するグローバルな視野と実践力を養うための教育を進めます。また、持続可能な社会の形成を促す研究を推進し、その成果を社会に還元します。さらに、学生に対する環境問題への意識啓発を進めるため、環境改善学生サポーターなど学生参加型の学生支援を積極的に進めます。

② 地域の環境保全

環境に関する地域の要請を踏まえた産学連携等の推進により、地域社会に貢献します。

③ 環境負荷の低減

地球温暖化対策の推進や、省エネルギー対策に向けて、温室効果ガス排出抑制等の環境配慮行動を積極的に推進します。また、省資源、資源の循環利用、グリーン購入の推進、化学物質管理の徹底等、大学運営における循環型社会構築への配慮に努めます。

④ 環境情報の発信

環境方針、環境報告書、環境改善活動等の自己点検・評価等の環境関連情報を、大学ホームページ等を通じて、学内の教職員・学生や一般社会へ積極的に公開します。

2. 宇都宮大学について

2-1 宇都宮大学の概要

■宇都宮大学の理念と方針

本学は、人類の福祉の向上と世界の平和に貢献することを理念とし、広く社会に開かれた大学として、質の高い特色ある教育と研究を実践するため、次の基本的な方針を定めています。

- 1.幅広く深い教養と実践的な専門性を身につけ、未来を切り開く人材を育成します。
- 2.持続可能な社会の形成を促す研究を中心に、高水準で特色のある研究を推進します。
- 3.地域社会のみならず広く国際社会に学び貢献する活動を積極的に展開します。

■構成人員（令和3年5月1日現在）

学生等数 6,224人

学部学生 4,017人、大学院生 918人、連合農学研究科 35人

附属学校 小学校 613人、中学校 432人、特別支援学校 59人、幼稚園 150人

役職員数 615人

学長・理事 5人、監事 2人、大学教員 327人、附属学校教員 82人、事務職員・技術職員 199人

■土地面積

8,917,534㎡

■建物床面積

170,813㎡

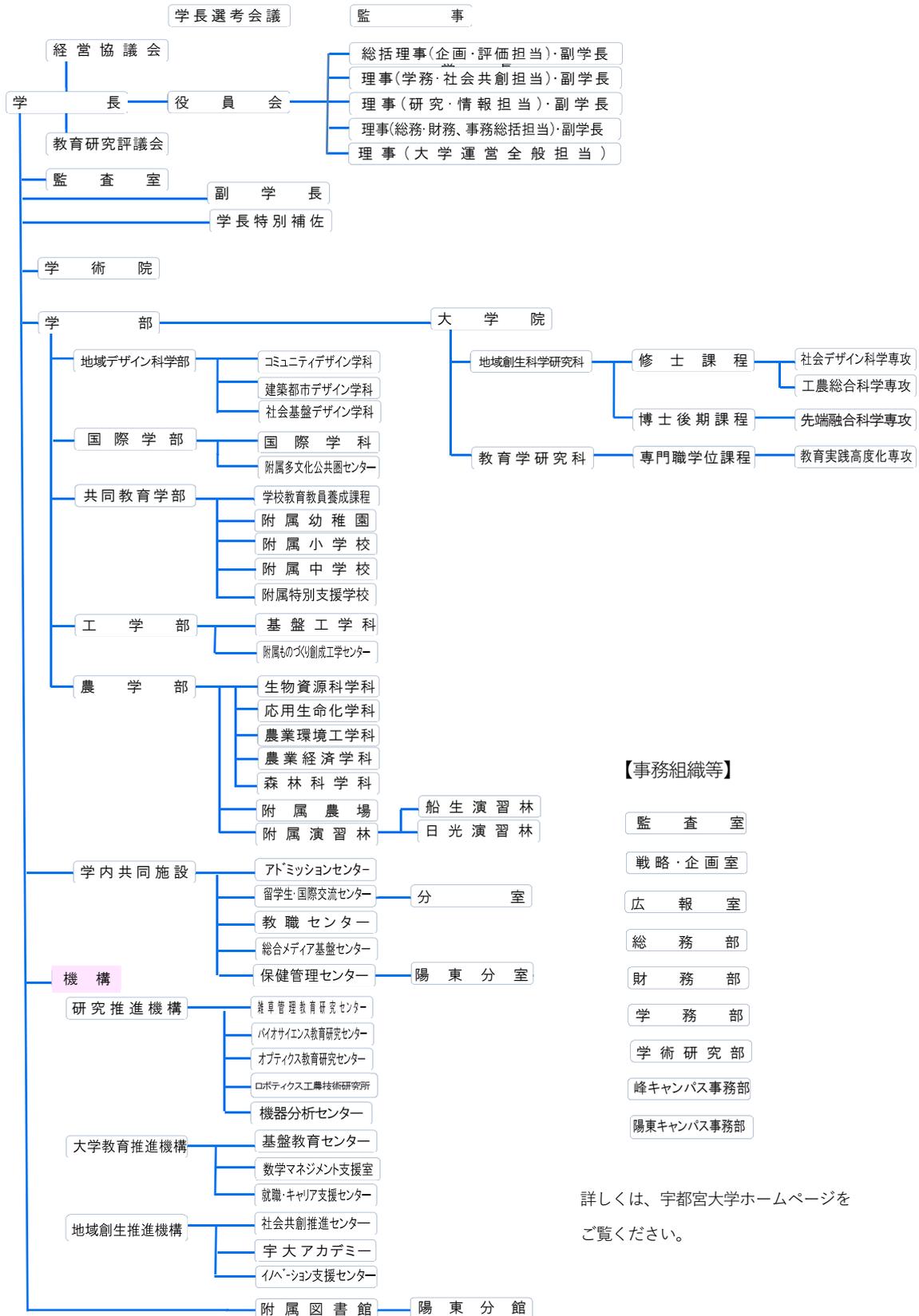
■令和元年度決算額

収入金 10,233百万円

支出金 9,949百万円

2-2 宇都宮大学の組織

令和3年7月1日現在





3. 地域貢献

3-1 地域貢献事業

本学は、「地域に学び、地域に返す、地域と大学の支え合い」をモットーとして、地域連携活動を推進しています。平成18年度に初めて行われた日本経済新聞社の全国国公立大学地域貢献度調査において総合第1位にランキングされて以来、その後も常に上位にランキングしており、令和元年度に行われた調査では、全国総合第6位にランキングされました。

令和2年度につきましては、新型コロナウイルス感染症対策により、地域貢献事業のうち、「環境」を扱った事業の開催はございません。



3-2 公開講座等

令和2年度につきましては、新型コロナウイルス感染症対策により、公開講座等のうち、「環境」をテーマにした講座等の開催はございません。



4. 環境パフォーマンス

4-1 エネルギー消費量

(1) エネルギー消費量の全体像

本学におけるエネルギー源別の使用量は下表のとおりです。令和2年度のエネルギー消費量の合計は、126,751 [GJ] です。その内訳は、電力消費量74%、ガス消費量25%、その他1%となっております。令和元年度に灯油をエネルギー源とした非高効率型の空調設備を電気式の高効率型空調設備へ更新したため、灯油の消費量（構成比率）が大きく減っております。

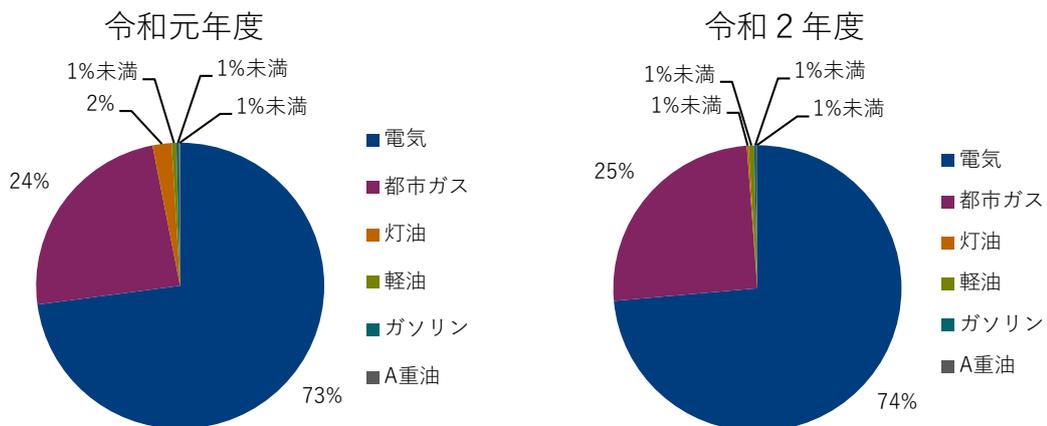
令和2年度のエネルギー消費量は前年度と比較して約12%減少となりました。要因としましては、特に新型コロナウイルス感染症対策で行いましたオンライン授業の影響が大きいと考察されます。これからも増減要因、問題点等を把握したうえで、必要な方策を講じ、改善に努めていきます。

エネルギー消費量（エネルギー源別） 下段は構成比率

エネルギーの種類 熱量換算値	電気 [GJ] 9.97MJ/kWh	都市ガス [GJ] 45MJ/m ³	灯油 [GJ] 36.7GJ/kL	軽油 [GJ] 37.7J/kL	ガソリン [GJ] 34.6GJ/kL	A重油 [GJ] 39.1GJ/kL	計 [GJ]
令和2年度	93,287 74%	31,980 25%	249 1%未満	781 1%未満	298 1%未満	156 1%未満	126,751 100%
令和元年度	105,234 73%	34,606 24%	3,093 2%	771 1%未満	435 1%未満	156 1%未満	144,295 100%

※ GJ …… ギガジュール。ギガは10⁹倍。

エネルギー源ごとに使用量の単位が異なるので、エネルギー消費量として比較・集計するために用いられます。使用量に熱量換算値を乗じて算出します。



エネルギー源別消費割合

エネルギー消費量を算出する根拠となったエネルギー源別の使用量（購入量）は以下のとおりです。

エネルギー使用量（エネルギー源別）

	電気 〔kWh〕	都市ガス 〔Nm ³ 〕	灯油 〔ℓ〕	軽油 〔ℓ〕	ガソリン 〔ℓ〕	A重油 〔ℓ〕
令和2年度	9,356,745	710,662	6,783	20,724	8,599	4,000
令和元年度	10,555,028	769,020	84,276	20,460	12,583	4,000

(2) CO₂排出量

前項で示したとおり、エネルギー消費量の大幅な減少に伴い、CO₂排出量は前年度比で約16%の減少となりました。

CO₂排出量（エネルギー源別）

エネルギーの種類	電気 〔t-CO ₂ 〕	都市ガス 〔t-CO ₂ 〕	灯油 〔t-CO ₂ 〕	軽油 〔t-CO ₂ 〕	ガソリン 〔t-CO ₂ 〕	A重油 〔t-CO ₂ 〕	計 〔t-CO ₂ 〕
CO ₂ 排出係数	R2: 0.434 R1: 0.455 tCO ₂ /千kWh	2.19 tCO ₂ /千Nm ³	2.51 tCO ₂ /kL	2.62 tCO ₂ /kL	2.32 tCO ₂ /kL	2.71 tCO ₂ /kL	
令和2年度	4,061	1,556	17	54	20	11	5,719
令和元年度	4,803	1,684	212	54	29	11	6,793

※ t-CO₂ …… エネルギーの消費に伴い、排出される CO₂〔t〕の量。エネルギー使用量に CO₂ 排出係数を乗じて算出します。

1人あたりのエネルギー消費量及びCO₂排出量

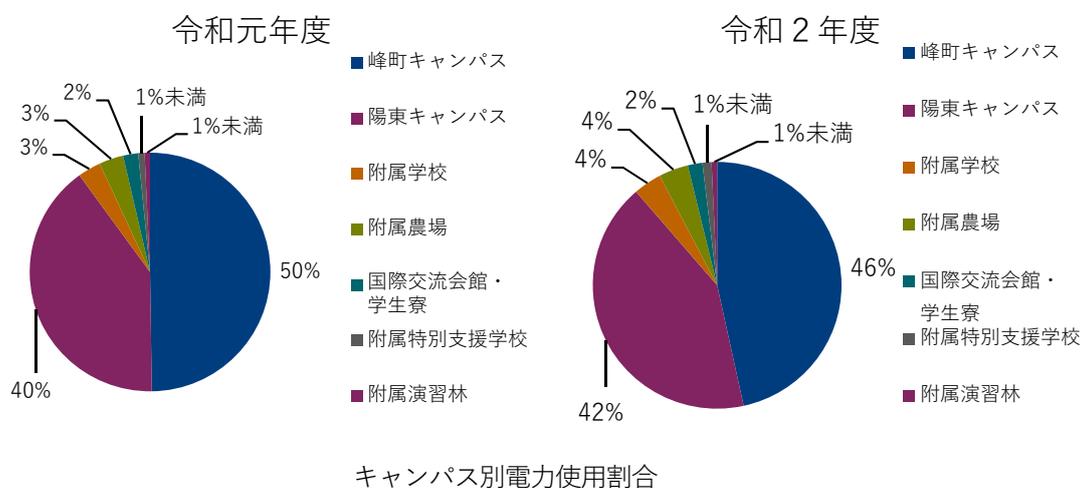
	構成員数〔人〕	エネルギー消費量 〔GJ/人〕	CO ₂ 排出量 〔t-CO ₂ /人〕
令和2年度	6,839	18.53	0.84
令和元年度	6,823	21.15	1.00

(3) 電力使用量

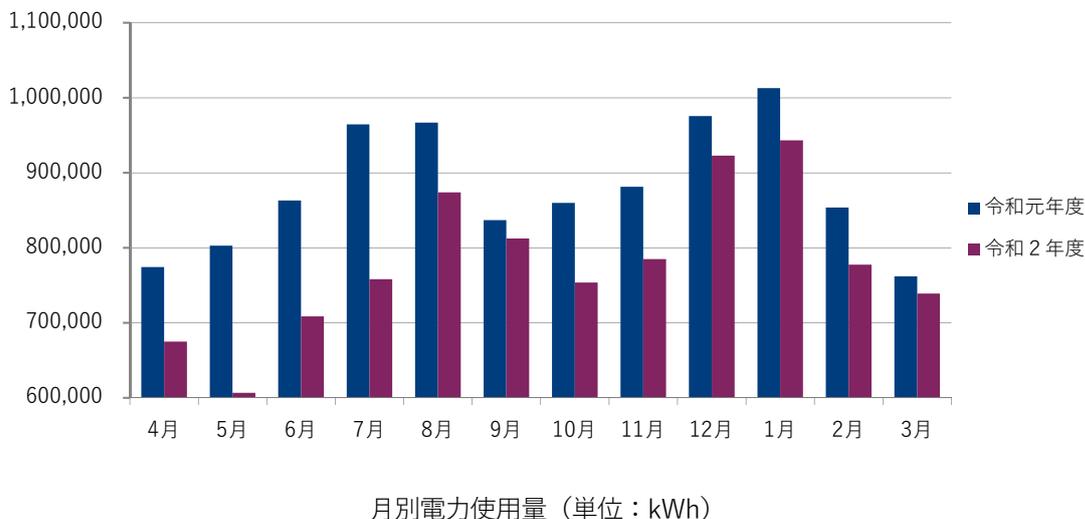
前々項で示しましたとおり、全エネルギー使用量のうち74%が電力によるものです。このことから、特に電力使用量の削減が重要となります。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策で行いましたオンライン授業の影響で、照明や空調設備（EHP）の稼働が減ったことにより、電力使用量は前年度に比べて約11%減少となりました。

また、峰町キャンパス及び陽東キャンパスの電力使用量の合計は、大学全体の約9割を占めていますので、電力使用量の多いこの2つのキャンパスを中心に使用状況等を調査し、節電対策を講じていきます。



月ごとの電力使用量を比較すると、空調機の稼働が多くなる夏季（7月）と冬季（1月）にピークがあり、省エネルギー対策をより効果的に進める必要があることが分かります。建物新築や大規模改修時には、高効率型機器を積極的に導入するとともに、空調機使用時の室温管理の徹底を行いエネルギーの削減を図っています。



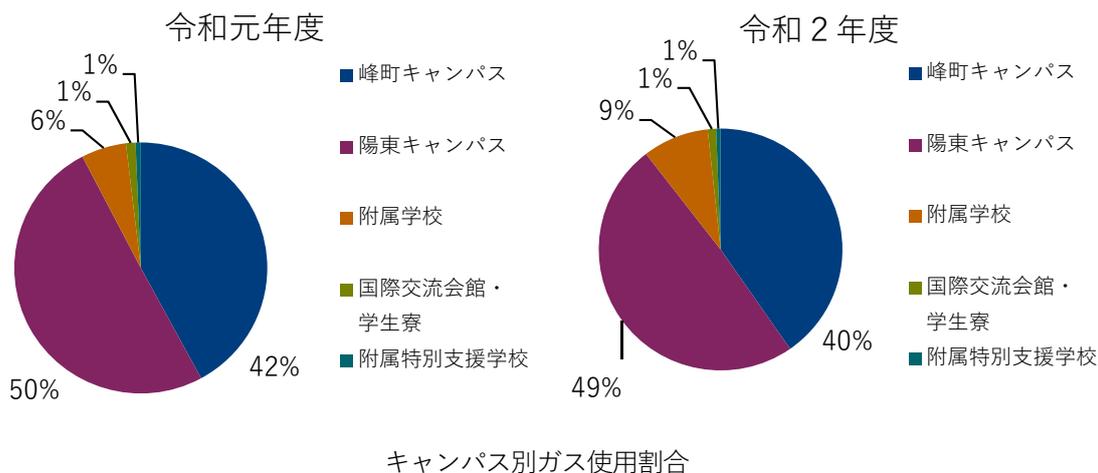
キャンパス別・月別電力使用量 上段：令和2年度、下段：令和元年度

名称	4月 〔kWh〕	5月 〔kWh〕	6月 〔kWh〕	7月 〔kWh〕	8月 〔kWh〕	9月 〔kWh〕	
峰町 キャンパス	332,975 397,178	285,309 405,455	319,358 438,393	348,976 502,399	403,562 492,972	372,585 427,539	
陽東 キャンパス	274,550 297,513	249,907 308,036	301,952 328,000	327,300 382,563	360,128 370,221	340,466 321,187	
附属学校 (松原)	16,037 22,926	22,674 35,374	34,293 39,171	29,536 23,154	35,722 24,440	32,524 30,388	
附属学校 (宝木)	4,421 5,794	4,661 5,877	8,124 7,467	8,837 8,903	10,592 8,142	11,313 8,732	
国際交流会館 ・学生寮	16,503 16,813	12,718 13,074	12,902 13,802	12,796 14,162	16,471 21,185	15,558 14,020	
附属農場	24,415 27,577	26,799 29,705	27,706 31,279	26,251 28,645	42,888 44,723	35,676 29,286	
附属演習林 (船生)	2,636 2,947	2,375 3,015	2,500 3,078	2,665 2,706	2,826 2,941	2,659 3,319	
研修施設 (戦場ヶ原)	3,506 3,689	2,310 2,363	1,776 1,959	1,865 2,103	1,726 2,321	1,705 2,561	
計	675,043 774,437	606,753 802,899	708,611 863,149	758,226 964,635	873,915 966,945	812,486 837,032	
名称	10月 〔kWh〕	11月 〔kWh〕	12月 〔kWh〕	1月 〔kWh〕	2月 〔kWh〕	3月 〔kWh〕	年間合計 〔kWh〕
峰町 キャンパス	353,166 428,983	362,355 434,493	434,123 465,534	430,550 469,831	359,376 403,794	355,855 387,283	4,358,190 5,253,854
陽東 キャンパス	325,315 354,775	337,668 361,812	400,176 421,742	402,676 440,083	318,192 356,539	303,235 305,472	3,941,565 4,247,943
附属学校 (松原)	27,134 24,331	32,949 31,558	22,583 22,574	36,548 32,067	30,185 24,039	22,327 16,410	342,512 326,432
附属学校 (宝木)	7,127 6,362	7,812 6,503	12,386 8,579	13,858 9,703	12,437 8,767	9,278 5,386	110,846 90,215
国際交流会館 ・学生寮	10,370 13,300	11,983 14,654	15,299 21,946	20,222 26,144	19,815 26,732	13,272 17,239	177,909 213,071
附属農場	25,741 26,966	26,303 25,603	31,436 27,772	32,324 26,791	31,188 25,762	28,462 22,645	359,189 346,754
附属演習林 (船生)	2,790 3,073	2,809 3,706	2,978 3,046	3,052 3,473	2,678 3,540	2,930 3,546	32,898 38,390
研修施設 (戦場ヶ原)	2,175 2,245	3,096 3,029	3,891 4,531	4,208 4,787	3,697 4,585	3,681 4,196	33,636 38,369
計	753,818 860,035	784,975 881,358	922,872 975,724	943,438 1,012,879	777,568 853,758	739,040 762,177	9,356,745 10,555,028

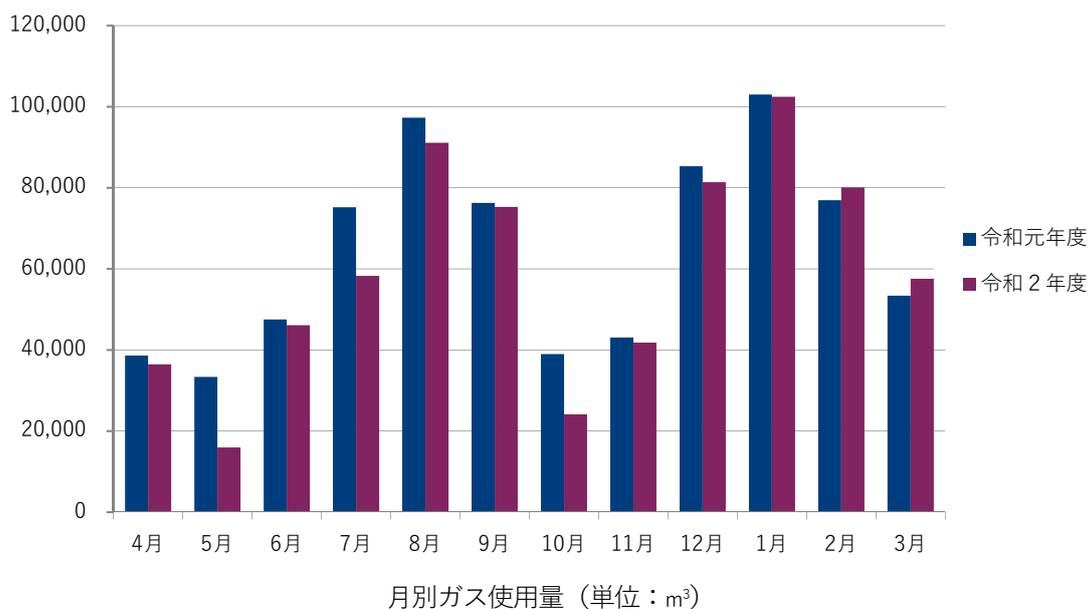
(4) ガス使用量

ガスの使用用途の殆どはガスを熱源とする空調設備（GHP）です。GHPは運転時の消費電力が少なく夏季と冬季に発生する電力ピークの削減に効果的なため、建物新築時や大型改修工事の際は、経済性を考慮しながら採用しています。

令和2年度のガス使用量は、新型コロナウイルス感染症対策で行いましたオンライン授業の影響で、空調設備の稼働が減ったことにより、前年度に比べて約8%減少となりました。



月ごとのガス使用量を比較すると、電力使用量と同じように空調機の稼働が多くなる夏季と冬季にピークがあります。なお、空調機使用時の室温管理の徹底を行いエネルギーの削減を図っております。



キャンパス別・月別ガス使用量 上段：令和2年度、下段：令和元年度

名称	4月 (m ³)	5月 (m ³)	6月 (m ³)	7月 (m ³)	8月 (m ³)	9月 (m ³)
峰町 キャンパス	15,608 16,224	3,615 10,684	14,042 17,579	19,842 30,444	36,827 43,013	27,568 28,557
陽東 キャンパス	18,063 18,856	11,275 19,675	26,800 26,122	32,330 41,062	49,380 50,447	37,427 40,887
附属学校 (松原)	1,933 2,274	295 1,778	4,402 2,913	5,223 2,692	4,261 3,171	9,581 6,043
附属学校 (宝木)	7 325	22 210	296 212	239 256	187 175	300 397
国際交流会館 ・学生寮	846 940	726 1,006	572 711	654 760	443 475	401 375
計	36,457 38,619	15,933 33,353	46,112 47,537	58,288 75,214	91,098 97,281	75,277 76,259

名称	10月 (m ³)	11月 (m ³)	12月 (m ³)	1月 (m ³)	2月 (m ³)	3月 (m ³)	年間合計 (m ³)
峰町 キャンパス	8,042 13,647	18,318 19,516	37,783 39,916	45,358 46,054	33,780 33,823	25,907 24,825	286,690 324,282
陽東 キャンパス	14,028 22,896	19,031 19,582	34,506 38,318	45,437 48,560	35,520 35,373	25,670 25,747	349,467 387,525
附属学校 (松原)	1,209 1,677	3,522 2,918	7,894 5,734	10,090 6,846	9,184 6,431	4,844 1,915	62,438 44,392
附属学校 (宝木)	231 179	331 269	488 438	755 437	904 467	454 72	4,214 3,437
国際交流会館 ・学生寮	627 604	632 796	730 910	812 1,123	717 847	693 837	7,853 9,384
計	24,137 39,003	41,834 43,081	81,401 85,316	102,452 103,020	80,105 76,941	57,568 53,396	710,662 769,020

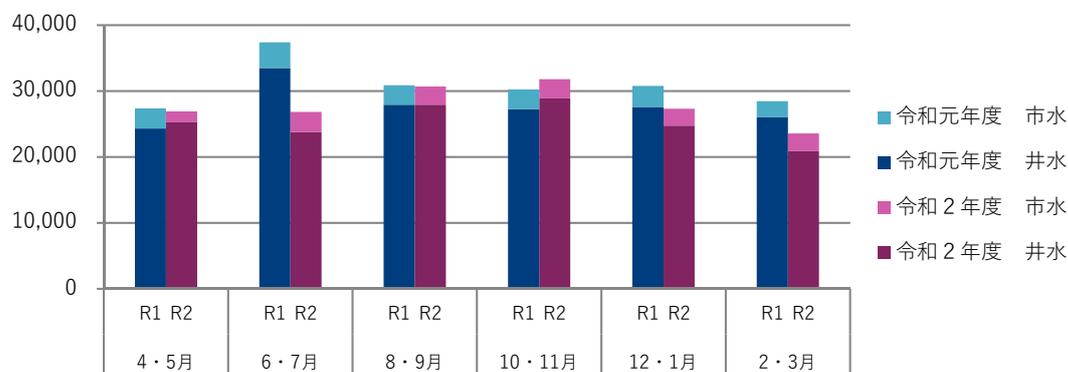
(5) 水道使用量

峰町キャンパス、陽東キャンパス、附属農場及び附属演習林（日光）では、井戸水を使用しています。これら以外の地区（附属学校、附属演習林（船生））は常時市水を使用しています。また、附属学校のトイレは、井戸水を利用することで、水資源の有効利用を図っています。

令和2年度の上水使用量は前年度と比較して約10%減少しました。陽東キャンパスは、さく井（井戸）設備等の整備を行ったことにより、井戸水を常時利用できるようになったため、市水使用量の大幅な削減ができております。

上水隔月別使用量（単位：m³）

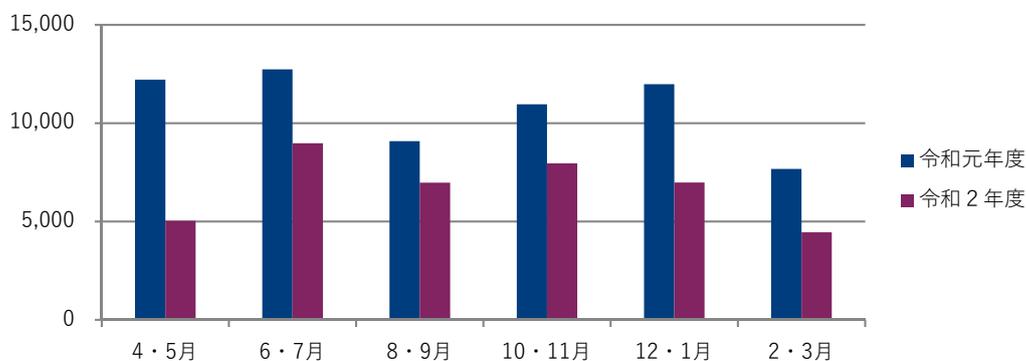
	4・5月	6・7月	8・9月	10・11月	12・1月	2・3月	計
令和2年度	26,910	26,855	30,694	31,816	27,337	23,573	167,185
令和元年度	27,393	37,410	30,895	30,270	30,786	28,463	185,217



上水隔月別使用量（単位：m³）

下水隔月別排出量（単位：m³）

	4・5月	6・7月	8・9月	10・11月	12・1月	2・3月	計
令和2年度	5,038	8,982	6,974	7,960	6,984	4,452	40,390
令和元年度	12,215	12,737	9,086	10,958	11,983	7,674	64,653



下水隔月別排出量（単位：m³）

4-2 ゴミ・紙・グリーン購入等

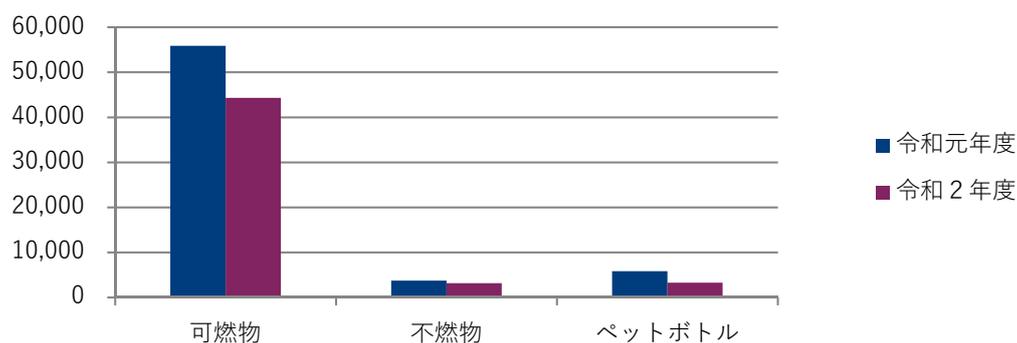
(1) ゴミ収集状況

平成27年度より可燃物として焼却処分をしていましたプラスチック製の弁当容器を分別回収し、廃プラスチックとして処分をしています。令和2年度のゴミ収集量は、前年度と比較して約22%減少しました。

これからも、学内において備品等のリユース（再使用）活動等を積極的に行い、ゴミの排出量の削減を図っていきます。

可燃物、不燃物及びペットボトルの収集量（単位：kg）

	可燃物	不燃物	ペットボトル	計
令和2年度	44,333	3,166	3,289	50,788
令和元年度	55,869	3,634	5,837	65,340



可燃物、不燃物及びペットボトルの収集量（単位：kg）

なお、行政の指定区分に応じて、各建物の階ごとに種類が明示されたゴミ入れ等を設置し、分別回収を行っています。



ゴミの分別箱設置状況

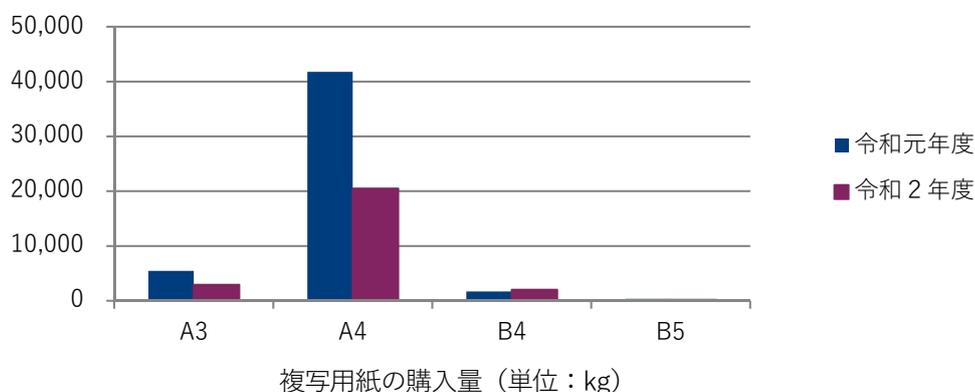
(2) 複写用紙の使用量

令和2年度の複写用紙の購入量は前年度と比較して約48%減少しました。主な要因としましては、新型コロナウイルス感染症対策で行いましたオンライン授業の影響と考えられます。

大学という特性上、複写用紙の購入量が他の事業所等に比べ多くなっています。これを大きく減らすことは容易なことではありませんが、両面コピーや裏面利用及び会議資料の電子化等により、複写用紙の使用量の削減を図っていきます。

複写用紙の購入量（単位：kg）

	A3	A4	B4	B5	計
令和2年度	2,928	20,470	2,010	195	25,603
令和元年度	5,472	41,770	1,710	368	49,320



(3) グリーン購入等

グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律）に基づいて、本学では環境に配慮した製品を調達するよう努めています。令和元年度以降の調達においても教育研究上の必要性等を考慮しつつ引き続き環境物品等の調達の推進を図り、可能な限り環境への負荷の少ない物品等の調達に努めていきます。

①物品等の調達

調達方針において、調達総量に対する基準を満足する物品等の調達量の割合により目標設定を行う品目については、100%を目標とし、全ての物品等の調達実績で目標を達成しました。

②公共工事

タイル及びビニール系床材などにおいて基準を満足する適用品を100%調達しました。また、工事に使用する建設機械（排出ガス対策型建設機械）についても基準を満足する機械を使用しました。

本学におけるグリーン購入等の詳細については、ホームページにて公表しています。

<https://www.utsunomiya-u.ac.jp/disclosure/competitive-bidding.php>

(HOME→情報公開→国立大学法人宇都宮大学調達情報 [競争入札情報])

4 - 3 化学物質

(1) 化学物質の管理

本学では、教育研究の必要上様々な化学物質を取り扱っています。P R T R法（特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律）などの関係法令や学内規程に則り、適切な使用、保管、廃棄等管理を行っております。

なお、毒物・劇物については、密栓した容器に入れ、内容物を明記して施錠した薬品棚に管理し、その出納を「毒物等受払簿」に記録するとともに、保管状況等について定期的に検査しています。

(2) 廃液処理状況

本学の教育研究活動で排出される実験廃液は、各キャンパスで一斉に回収（峰町キャンパス：年1回、陽東キャンパス：年2回）し、業者に処分を委託しています。

一般産業廃棄物排出量（単位：kg）

	汚泥	廃アルカリ	廃酸	廃油	計
令和2年度	421	725	172	281	1,599
令和元年度	282	346	135	428	1,191

特別管理産業廃棄物排出量（単位：kg）

	汚泥 (有害)	引火性廃油 (有害)	強アルカリ (有害)	廃アルカリ (有害)	廃酸 (有害)	強酸 (有害)	計
令和2年度	22	2,503	98	25	924	0	3,572
令和元年度	37	3,140	167	1	1,250	0	4,595

(3) P C B廃棄物の取り扱い

P C B廃棄物については、「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理に関する特別措置法」に基づき、適切な対応をしています。

保管していましたP C B廃棄物は、国の認可を得た処理業社に委託をして処理を行うことで、学内で保管しておりました全てのPCB廃棄物の処理が完了しております。

4-4 環境配慮活動の取組事例

(1) 施設設備による省エネルギー対策

令和2年度においては、陽東キャンパス附属図書館（学生プラザ）改修工事等の際に省エネルギー対策と地球温暖化ガス（CO₂）排出削減の取り組みを実施しました。下記は取り組みの一例です。

① 照明器具による省エネルギー対策

高天井に設置の照明器具を水銀灯から LED 照明へ更新することで、約 70%省エネになりました。また、LED 照明は、水銀（ランプ）を使用しませんので、環境保護にも役立ちます。



高効率型（LED）照明器具

② 高効率型空調機による省エネルギー対策

非高効率型から高効率型への更新をすることにより約 30% 省エネになりました。また、ピーク電力をカットする機能がありますので、夏季と冬季の空調機使用時に発生するピーク電力の削減にも役立ちます。



高効率型空調機

③ 窓ガラスによる省エネルギー対策

建物で熱損失の大きい「窓」について、単板ガラスから複層ガラスに更新し、断熱性能の向上（約 76%）を図りました。
※複層ガラスとは、2 枚のガラスの間（中間層）に乾燥空気等を封入し、断熱性能を向上させたガラス。



複層ガラス

④ 太陽光発電設備による省エネルギー対策

附属図書館（学生プラザ）改修工事にて、10 kW の太陽光発電設備を設置しました。このことにより、試算では、年間約 12 千 kWh の発電量が見込めます。

太陽光発電による電力は発電時に温室効果ガス（CO₂）を排出しませんので、地球温暖化ガスの削減量は年間約 5.5 [t-CO₂] となります。



太陽光発電設備

2) 省エネルギーマニュアルの作成

冷暖房によるエネルギー使用量が増加する夏季・冬季に、より一層の省エネルギー活動が積極的に取り組めるように、分かりやすく省エネのポイントをまとめた、省エネルギーマニュアル（2020 夏、2020 冬）を作成しました。また、学外の方が貸付で教室等を利用する際においても、簡単に実践できるように、学外者向けの省エネルギーマニュアルについても作成しました。



省エネマニュアル
(夏) 表紙



省エネマニュアル
(冬) 表紙



省エネマニュアル
貸出施設編

4-5 環境関連の法規制の遵守状況

本学に適用される環境関連の法規制は、主として下記に示すとおりです。平成30年度においても、これらの法規制に関する訴訟や料金が科せられた事例はありません。

①公害関連法規制

大気汚染防止法、水質汚濁防止法、下水道法、土壌汚染対策法など。

②エネルギー関連法規制

エネルギーの使用の合理化に関する法律、地球温暖化対策の推進に関する法律など。

③廃棄物関連法規制

廃棄物の処理及び清掃に関する法律、PCB特別措置法など。

④化学物質関連法規制

PRT法、高圧ガス保安法、毒物及び劇物取締法など。

5. 環境報告ガイドライン(2012年版)との準拠状況

環境省が作成した「環境報告ガイドライン (2012年版)」には、「環境報告として記載することが望ましいとする項目」が提示されています。以下に環境報告ガイドラインの項目に該当又は関連する、本報告書の記載事項を示します。

環境報告ガイドラインの項目	本環境報告書の記載事項	該当ページ
【1】 基本的項目 : Basic Information		
1. 報告にあたっての基本的要件 (1) 対象組織の範囲・対象期間 (2) 対象範囲の捕捉率と対象期間の差異 (3) 報告方針 (4) 公表媒体の方針等	対象組織、対象地区、対象期間	目次
2. 経営責任者の緒言	—	—
3. 環境報告書の概要 (1) 環境配慮経営等の概要 (2) K P I の時系列一覧 (3) 個別の環境課題に関する対応総括	2-1 宇都宮大学の概要 2-2 宇都宮大学の組織 — — 1. 環境方針	2 3 — — 1
4. マテリアルバランス	4-1 エネルギー消費量 4-2 ゴミ・紙・グリーン購入等 4-3 化学物質	5~11 12~13 14
【2】 「環境マネジメント等の環境配慮経営に関する状況」を表す情報・指標 : Management Performance Indicators		
1. 環境配慮の取組方針、ビジョン及び事業戦略等 (1) 環境配慮の取組方針 (2) 重要な課題、ビジョン及び事業戦略等	1. 環境方針	1
2. 組織体制及びガバナンスの状況 (1) 環境配慮経営の組織体制等 (2) 環境リスクマネジメント体制 (3) 環境に関する規制等の遵守状況	— 4-5 環境関連の法規制の遵守状況	— 16
3. ステークホルダーへの対応の状況 (1) ステークホルダーへの対応 (2) 環境に関する社会貢献活動等	— 3. 地域貢献	— 4
4. バリューチェーンにおける環境配慮等の取組状況 (1) バリューチェーンにおける環境配慮の取組方針、戦略等 (2) グリーン購入・調達 (3) 環境負荷低減に資する製品・サービス等 (4) 環境関連の新技術・研究開発 (5) 環境に配慮した輸送 (6) 環境に配慮した資源・不動産開発/投資等 (7) 環境に配慮した廃棄物処理/リサイクル	— 4-2 (3) グリーン購入等 — — — — —	— 13 — — — — —

環境報告ガイドラインの項目	本環境報告書の記載事項	該当ページ
【3】 「事業活動に伴う環境負荷及び環境配慮等の取組に関する状況」を表す情報・指標：Operational Performance Indicators		
1. 資源・エネルギーの投入状況		
(1) 総エネルギー投入量及びその低減対策	4-1 エネルギー消費量	5~10
(2) 総物質投入量及びその低減対策	—	—
(3) 水資源投入量及びその低減対策	4-1 (5) 水道使用量	11
2. 資源等の循環的利用の状況（事業エリア内）	—	—
3. 生産物・環境負荷の産出・排出等の状況		
(1) 総製品生産量又は総商品販売量等	—	—
(2) 温室効果ガスの排出量及びその低減対策	4-1 (2) CO ₂ 排出量	6
(3) 総排出量及びその低減対策	4-1 (5) 水道使用量	11
(4) 大気汚染、生活環境に係る負荷量及びその低減対策	—	—
(5) 化学物質の排出量、移動量及びその低減対策	4-3 化学物質	14
(6) 廃棄物等総排出量、廃棄物最終処分量及びその低減対策	4-2 (1) ゴミ収集状況	12
	4-3 (2) 廃液処理状況	14
(7) 有害物質等の漏出量及びその防止対策	—	—
4. 生物多様性の保全と生物資源の持続可能な利用の状況	—	—
【4】 「環境配慮経営の経済・社会的側面に関する状況」を表す情報・指標：Eco-Efficiency Indicators		
1. 環境配慮経営の経済的側面に関する状況		
(1) 事業者における経済的側面の状況	—	—
(2) 社会における経済的側面の状況	—	—
2. 環境配慮経営の社会的側面に関する状況	—	—
	3. 地域貢献	4
【5】 その他の記載事項等：Social Performance Indicators		
1. 後発事象等	—	—
2. 環境情報の第三者審査等	—	—

宇都宮大学 2021年度版 環境報告書

発行年月 令和3年(2021年)9月

問い合わせ先 国立大学法人宇都宮大学 財務部施設課

TEL (028)649-5065 FAX (028)649-5075

Eメール sisetuka@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

大学ホームページ <https://www.utsunomiya-u.ac.jp/>



宇都宮大学オリジナルキャラクター「宇～太」